

オリックス、イスラム金融事業に参入

オリックス(本社・東京都港区)は、2017年11月30日よりマレーシアの子会社、オリックス・リーシング・マレーシア(OLM)社を通じてイスラム金融事業に参入することを発表した。

日系金融機関として初めてのイスラム式リース商品においてシャリア適格認証を取得し、本事業を開始する。イスラム金融とは「利子の授受の禁止」などのイスラムの教義に基づく法体系「シャリア」に則った金融取引の総称で、OLM社はそのイスラム金融におけるリースと類似した取引形態である「イジャラ(Ijarah)」と呼ばれる金融サービスの提供を開始し、「イジャラ」の形態を用いて「イスラム式ファイナンスリース」「イスラム式割賦」「イスラム式レンタル」の3つの金融商品を展開する。このうち、「イスラム式レンタル事業(オペレーティング・イジャラ)」はマレーシアで初の取り組みとなる。パソコンなどのIT関連機器や測定器、医療機器などを取り扱う。

三井アウトレットパーク第2期開発で、新たに約70店舗が順次オープン

三井不動産(本社・東京都港区)は2017年11月30日、アウトレットモール「三井アウトレットパーク・クアラルンプール国際空港セパン」の第2期開発について、12月15日より約70店舗が順次開店すると明らかにした。グランドオープンは2018年2月上旬の予定だ。

三井不動産は、共同事業パートナーのマレーシア・エアポーツ・ホールディングス社と共同で設立した合弁会社MFMAディベロップメント社を通じて、クアラルンプール国際空港敷地内にクアラルンプール初の本格的アウトレットモール「三井アウトレットパーク・クアラルンプール国際空港セパン」を2015年5月30日に開業した。今回の増床により新たに約70店舗が加わり、マレーシア最大規模(約200店舗)を誇るアウトレットモールとなる。

OLM、マレーシアに初の2Dアニメスタジオ「OLMアジア」を設立

イマジカ・ロボット・ホールディングス(本社・東京都千代田区)は2017年12月13日、子会社の株式会社オー・エル・エム(本社：東京都世田谷区)がサイバージャヤにアニメスタジオ会社、OLMアジア社を設立したと発表した。

日本におけるアニメ市場はさらに拡大し、OLM内の制作受注数も年々増加している一方、日本のアニメーション業界は深刻な人材不足の問題に直面しており、今後は更なる加速が予想される。そのため、このマレーシア初の2Dアニメスタジオで、デジタル作画による動画・仕上げ業務を中心に、将来的には専門性の高い高度な業務を行い、ワンストップでアニメーション制作が可能なスタジオとなるよう目指す。

またOLMアジア社はマレーシア政府機関であるマレーシア・デジタルエコノミー公社(MDEC)の支援のもと、アジアのハブであるサイバージャヤに制作拠点を設立し、今後アニメ制作ラインのキャパシティの拡大、現地における高度人材育成などを行うアニメーション制作のアジアの一大拠点となることを目標としている。

照明メーカーの CCS、ペナンに実験室を開設

画像処理検査用 LED 照明メーカーのシーシーエス株式会社(本社・京都市上京区)は 2017 年 12 月 18 日、ペナン州にテストングルーム(実験室)を新規開設し、2018 年 2 月をめどに稼働を開始すると発表した。

半導体や電子部品の製造業者が多く集まるペナン州でのテストングルーム(実験室)の新規開設によって、シーシーエス社の海外拠点はこれまでの 12 拠点(ブリュッセル・ボストン・エルパソ・サンノゼ・シンガポール・バンコク・クアラルンプール・上海・シンセン・東莞・台北・アニヤン)から 13 拠点となる。

タケックス、ハラル認証の除菌製剤を来年 4 月から販売

タケックス(本社・大阪府吹田市)は 2017 年 12 月 19 日、マレーシア・イスラム開発局(JAKIM)からハラル認証を受けたエタノール除菌製剤「タケックス・クリーン」をマレーシアで 2018 年 4 月から製造販売を開始すると発表した。

ハラル市場ではアルコールや豚などを含む調味料やゼラチンなどは認証を受けられず、また高価なアルコール、有害なアルコールの使用、製造が難しいなどの困難の中、同社はこれまでマレーシアの政府系機関や大学、政府関係企業等と調査研究を行い、身体に無害な工業用アルコールを使用した「タケックス・クリーン」を製造販売することを決定した。

「タケックス・クリーン」は、竹表皮から抽出した有効成分であるモウソウチク抽出物に加え、45%のエタノールが含まれた除菌製剤で、口内摂取しても安全なフードグレード基準製品である。

JX マレーシア石油開発、サラワク州のガス田の権益取得

JX 石油開発(本社・東京都千代田区)は 2017 年 12 月 20 日、JX マレーシア石油開発がペトロナス社よりサラワク州にあるベリル・ガス田の権益付与と、同ガス田の開発計画が承認されたと発表した。

ベリル・ガス田は、JX マレーシアが 75%の権益を保有し、オペレーターとして生産・操業中のサラワク州沖 SK10 鉱区ヘラン・ガス田の浅層に位置している。ヘラン・ガス田と同様に JX マレーシアがオペレーターとして開発・生産を行う。また、ヘラン・ガス田の既存生産施設を活用するため、短期間かつ低コストでの開発が可能だという。生産開始は 2018 年 11 月を予定しており、ピーク時の生産は 1 日当たり 23,000 バレルと見られている。これらのガスは日本を含むそれぞれの企業の顧客に LNG として販売される。